

会議・打合せ等記録

報告日：令和4年8月4日

名 称	鹿沼市長寿計画運営委員会
日 時	令和4年7月28日(木) 13時30分～14時30分
場 所	市民情報センター2階 子育て情報室
出席者	上都賀郡市南部地区医師会 田中成美氏、鹿沼歯科医師会 星雅朗氏、 鹿沼薬剤師会 君島正氏、鹿沼市民児協連合会 神山壽子氏、 鹿沼市ボランティア連絡協議会 吉川赫氏、 鹿沼市老人クラブ連合会 寺崎尚美氏、鹿沼市議会 加藤美智子氏、 老人保健施設ほほえみ 菊池要子氏、横山達弘氏、岡本チヨ子氏、 福田義一副市長、保健福祉部 亀山部長、 介護保険課 星野課長、根本補佐、金子係長 高齢福祉課 中村課長、長谷川補佐、星係長、岩田主査 合計20人
内容及び 結果等	<p>1 開会(中村課長)</p> <p>2 委員長あいさつ(福田副市長)</p> <p>コロナ感染症が拡大している中ではあるが、(この委員会は)重要な課題であるのでよろしくご協力をお願いしたい。本市でも高齢化率が30%を超え、直近の数字では30.71%と増々高齢化が進んでいる。令和2年度に第8期の「いきいきかぬま長寿計画」を策定。令和3年度から5年度の3ヶ年の初年度である令和3年度の実績報告とそれを踏まえて、今後の計画推進に向けて皆様のご意見をいただきたい。有意義な会議となるようお願いしたい。</p> <p>(人事異動による自己紹介) 亀山部長、星係長、中村課長</p> <p>(ここから進行は委員長へ)</p> <p>3 報告事項 (事務局説明)</p> <p>1) 第8期いきいきかぬま長寿計画 令和3年度実績報告 資料1</p> <p>第2部 高齢社会の現状と将来推計</p> <p>第1章 本市の高齢者人口等の現状と将来推計(金子係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総人口が減少している中、高齢者人口は増加。 ・介護認定申請件数は前年度比421人増。更新申請者の増加が主な要因。令和2年度に更新延長をした方が令和3年度に申請を行ったため。 ・介護予防を目的とする介護度の軽い方の認定が増加。 <p>第3部 高齢者福祉施策の推進(高齢者福祉計画)</p> <p>第1章 生きがいつくりと社会参加の推進(星係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター会員数は60歳以上人口に占める入会率は前年比微減。60歳を過ぎても就労できる職場が増加したことによると考えられる。

会議・打合せ等記録

<ul style="list-style-type: none"> ・「3 生きがいつくりと交流の場づくり」では感染症対策を講じながら実施。 ・「4 敬老事業の推進」では、全地区敬老会は実施せず、祝い金や祝い品など記念品を支給。
<p>第2章 安心して暮らせるまちづくりの推進（星係長）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅高齢者状況調査を実施。一人暮らし高齢者の減少し、シルバー世帯と3人以上世帯が増加。 ・通所型サービス（高齢者・障がい者トレーニングセンター）はワクチンの接種会場として提供しているため、隣接の高齢者福祉センターで規模縮小し実施。
<p>第4部 持続可能な介護保険制度の運用（介護保険事業計画）</p>
<p>第1章 地域支援事業の推進</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況により出前講座は実施できなかったため、マイエンディングノートを別の教室参加者や施設、スーパー等へ設置。市民への周知が図られた。 ・第2層協議体の活動では、第3回地域で輝く力大賞において、菊沢地区の「スマイルきくさわ」が最優秀賞、南押原地区「友遊館」事業が優秀賞を受賞。 ・市民の買い物支援と見守り支援に民間事業者との協働で移動スーパー事業を令和3年11月29日より開始。現在も月曜日から金曜日に市内40か所で実施。 ・「2 介護予防・日常生活支援総合事業の充実強化」では、会場に来なくて参加できるよう口腔ケアについて動画を作成し、鹿沼ケーブルテレビ、YouTube 鹿沼チャンネルで放映。アクセスできない方にはDVDを配布。
<p>第2章 介護サービスの充実・強化（金子係長）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス給付実績減少は、コロナ感染症による利用控えが要因。 ・地域密着型介護予防サービスの増加は小規模多機能型居宅介護の利用者増加のため。 ・施設サービスはコロナ禍により入所者が減少。 ・「4 サービスの質の向上」 「(3) サービス付き高齢者向け住宅と介護保険の連携」 → 「(2) 介護サービス事業所の人員の保支援」に訂正。 ・介護に関する入門的研修の実施 → 1名が市内の社会福祉法人が運営する介護保険事業所に就職。
<p>第3章 介護保険制度の円滑な推進（金子係長）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「適切な介護サービス事業者等の指導・監督」はコロナ感染症のため書面

会議・打合せ等記録

	による集団指導のみ実施。
	・令和4年度は34事業所の実地指導を予定。7月より実施。
4	質疑応答、意見等
	横山委員 市としてはどういう傾向ですか。何か問題点ありましたか。改善は。反省点などは。
	中村課長 コロナ禍での事業の実施ということで、ほっとホームやほっとサロン等高齢者の交流の場の活動がなかなか実施できなかったという課題がある。今年度は感染予防対策に対する補助金を出したりして、なるべく実施してもらおうよう進めている。高齢者・障がい者トレーニングセンターはコロナワクチン接種会場となっている関係で、介護予防事業の規模縮小をせざるをえない状況。ワクチン接種会場として使用されなくなれば、今まで以上に介護予防事業が実施できると良い。
	横山委員 コロナ禍で高齢者の活動の場が減ってしまうと、高齢者が家にひきこもりうつ状態になるのではないか。そのような傾向はあったか。自殺者が増えたとか。
	亀山部長 コロナ禍での高齢者への影響だと思う。自殺者数ですが、自殺の要因の詳しい情報は来ない傾向があるが、令和3年度としては特に60代男性の事例があった。詳細については不明。鹿沼市全体としては全国的に増加傾向にある中、横ばいで推移。サロンや元気アップ教室になかなか参加できないが、体力の維持などを図るためにYouTubeや鹿沼ケーブルテレビを活用した体操の実施を自宅でもできるようにし、少しでも身体を動かすことで、ストレス軽減の取組を実施。地域の課題に対する取組の補足として、各地域で第2層協議体ということで高齢者が地域で安心して暮らせるように地域で取り組む活動を市内全域で実施。その中の課題として、移送サービス、移動や買い物の件での不満あり、令和3年度から取り組んでいるスーパーと連携した形での移動スーパーを実施し、買い物支援を行った実績がある。
	加藤委員 「第8期いきいきかぬま長寿計画」記載のページと実績を照らし合わせできると良いのでは。高齢者虐待のような件数が前回は見守りの部分に掲載されていた。ゴミ出しが困難な市民に対してはどうだったのか。
	長谷川補佐 高齢者虐待対応件数について、令和3年度は通報件数が23件、内虐待として認定対応したの件数が14件。高齢者虐待として通報があったとしても、アセスメントしていくと夫婦関係の問題やひきこもりの子・孫の問題など、虐待とは違った案件が9件あった。
	中村課長 ゴミの問題については環境部で対応中。実績は把握してない。後で

会議・打合せ等記録

	報告する。
亀山部長	次回からは計画書にリンクした形で記載し報告できるよう資料作づくりに努める。ご意見ありがとうございました。
君島委員	P10 「(3) 総合相談支援事業」について、「1回で解決」「継続支援」内訳はわかるか。
長谷川補佐	最も多かった相談内容は「介護保険に関すること (3,112 件)」となっている。次いで「医療に関すること (1,430 件)」、3 番目は「安否確認」「権利擁護」となっている。
寺崎委員	鹿沼市の高齢化率は県内 25 市町の間くらい。茂木町では 43%、那須町、那珂川町、塩谷町も 40%超。低いところは、上三川町の 23.5%、小山市、宇都宮市の 25.4%。10 人のうち 4 人が高齢者という時代に突入。今までのように高齢者だから大切にされるという時代は終わった。高齢者が地域社会の中で活躍する時代が来たのでは。昨年老人クラブを立ち上げた。近隣の老人クラブにも声掛けし 40 名以上に。地域で老人クラブ中心となり、自治会長と相談し高齢者が地域で活躍しなければならない。地域をまとめていくのは高齢者だが、組織としては老人クラブしかない。10%会員増運動に取り組むもなかなか会員増につながらない。5%くらい体の衰えなどから退会する会員もいるが、この人を生涯会員とする。生涯会員制度の創設へ。会費徴収し年 2 回会報誌発行、その他「出合いの扉」3 回発行、計 5 回発行し、孤立させない活動を。生涯会員制度を立ち上げていく。8 月に傾聴についての勉強会を実施。
神山委員	高齢者が 65 歳以上となっているが、元気な方がたくさんいる。70 歳以上に引き上げて高齢者世帯を減らしてほしい。見守りがすごく増えていて大変。いかがでしょうか。
星野課長	年齢ではなく必要に応じて判断してほしい。厚生課で行っている見守り隊と併せて民生委員さんは見守りを実施していただいているが、見守り隊に関しては対象は 65 歳以上だが、その中で見守りが必要と思われる方に絞ってよいと思う。直接会わなくても可。逆に 65 歳未満であっても見守りが必要な方も存在する。地区によって 65 歳未満であっても見守りを行っている。65 歳は目安と考えていただき、地区の実情に応じて実施していただきたい。
菊池委員	高齢者が 65 歳とされることの補足として、国の規定では老人福祉法に 65 歳以上を高齢者とする規定されている関係上、厚生労働省の法規はすべて 65 歳以上となっている。よって簡単には変えられないのでは。
岡本委員	施設の面会だが、随分我慢して行けていない。これから少し緩やか

会議・打合せ等記録

	<p>なると思うが、何とかガラス越しでもよいので、配慮願いたい。</p> <p>星野課長 面会に関してはそれぞれの施設が感染症対策として実施するかどうか判断しているので、施設ごとに異なるが、6月くらいまでは大体聞いている施設では面会ができていたと思う。ただ、ここに来て感染者の増加で、制限されているところも増えている。感染が拡大している中では、入所者の安全の観点から面会を制限せざるを得ないことは致し方ないのかと。状況に応じて、施設でガラス越しやモニター越しに顔を見ることができる施設もある。施設に相談をしていただきたい。</p> <p>横山委員 もうすぐ後期高齢者になる。血圧が高くて、降圧剤を15年くらい飲んでる。オメガ3の効果で血圧が劇的に下がった。高齢福祉課でオメガ3の研究をしてもらえないか。</p> <p>田中委員 この会議は「鹿沼市長寿計画運営委員会」ということで、鹿沼市の地域全域における検討会。身近な問題だがかかりつけ医や薬剤師に相談してみてはどうか。</p> <p>5 その他 特になし</p> <p>6 閉会（中村課長）</p>			
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 鹿沼市長寿計画運営委員会 会議次第 ・ 鹿沼市長寿計画運営委員会委員名簿 ・ 鹿沼市長寿計画運営委員会要綱 ・ 資料1 			
次回予定				
記録者	吉田			
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)</p>				
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	0人